



友愛の丘通信

UAゼンセン中央教育センター
友愛の丘通信 2021 新年号(臨時)
(2021年1月1日発行)
発行責任者:近藤 三千代
編集 人:齊藤 舞

丑
2021

謹んで新年のご挨拶を申し上げます

丑
2021



近藤センター長

明けましておめでとうございます。昨年は清々しい空気を感じながら新年を迎えましたが、すぐにコロナウイルスの影響を受け、本部研修を中止せざるを得ませんでした。3月から4か月間、友愛の丘は静寂に包まれておりました。労働組合の原点である「集まる」ことが出来ない日々が続く、このまま集合研修が出来なくなるのではないかと不安を感じましたが、皆で友愛の丘で研修するという意味を再確認、共有し知恵を出し合い、研修再開が叶いました。職員さんには雇用調整助成金を利用しながらの休業と出勤の繰り返しで、部門間の連携も難しい中、新しい生活様式に合わせて、業務内容を変更してもらいました。対策が完璧であるとは申しませんが、利用者の皆様に安心して来ていただけるよう、努力を続けてまいります。

コロナウイルスの影響がなくなるのはまだまだ先かもしれませんが、先人達が紡いできた労働運動の歴史を途絶えさせることのないよう、新しい労働運動を模索しながら、友愛の丘も進化しなければならないと考えております。リモートでできる研修もありますが、友愛の丘に来て、自らの内面を振り返る時間を持ち、仲間との絆の大切さを再認識して頂きたいと思っております。皆が笑顔で集い、語り合える日が来ることを祈念して、新年のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞ宜しくお願い致します。

第9期交渉力強化団体交渉講座

本年度はコロナの影響を受けた仮想企業の労働組合として要求書の作成や団体交渉を行った。業種によりコロナの影響の受け方が全く異なる中で、自分たちはどのように要求・交渉をすべきなのか研修生は頭を悩ませた。



片倉機器労組・ホテル一万里労組 旗納め

12月18-19日、長野から2組合が旗納めのため、来校。同日に研修を行っていた第145期新任役員研修会の受講生も式に参列し、最後の旗の降納を見守った。



編集後記 昨年はコロナの影響により激動の1年となりました。友愛の丘に来校された皆様には感染予防への多大なるご協力に感謝を申し上げます。今年も油断できない状況ではありますが、皆で団結し乗り越えていきましょう。(熊五郎)